

令和4年第3回燕市議会定例会  
一般質問日程表

| 質 問 日   |    | 質 問 者 |           |   | 質 問 方 式 |      |
|---------|----|-------|-----------|---|---------|------|
|         |    |       |           |   | 一括質問    | 一問一答 |
| 9月7日(水) | 午前 | 1     | 小林 由明 議員  |   | ○       |      |
|         | 午後 | 2     | 埴 豊 議員    |   | ○       |      |
|         |    | 3     | 土田 昇 議員   |   | ○       |      |
|         |    | 4     | 樋浦 恵美 議員  |   | ○       |      |
| 8日(木)   | 午前 | 5     | 中山 眞二 議員  |   | ○       |      |
|         |    | 6     | 岡山 秀義 議員  |   | ○       |      |
|         | 午後 | 7     | 田澤 信行 議員  |   | ○       |      |
|         |    | 8     | 齋藤 信行 議員  | ○ |         |      |
|         |    | 9     | 長井 由喜雄 議員 |   | ○       |      |
| 9日(金)   | 午前 | 10    | タナカ・キン 議員 |   | ○       |      |
|         |    | 11    | 宮路 敏裕 議員  |   | ○       |      |
|         | 午後 | 12    | 大岩 勉 議員   |   | ○       |      |

令和4年第3回燕市議会定例会「一般質問表」

| 発言<br>の<br>順序 | 発<br>言<br>す<br>る<br>員    | 質問項目<br>(大項目)                                    | 質問要旨<br>(中項目)                                      | 具<br>体<br>的<br>な<br>内<br>容<br>(小項目)  |
|---------------|--------------------------|--|--|--|
| 1             | 小林<br>由明<br>(一問一<br>答方式) | 1. 都市のアップ<br>デート、立地適<br>正化計画につ<br>いて             | (1)立地適正化<br>計画におけ<br>る、目指すべ<br>き都市像の<br>共有につ<br>いて | ①立地適正化計画でいうところのコンパクトシティプラスネットワークについては、居住・都市機能誘導区域への集住などが図られることで、既存集落から市街地部への移住（自治会から自治会への人の移動）が進み、既存集落の衰退が進むのではないかとという市民の声がある。立地適正化計画が目指すマチのカタチや成果などを分かり易くお示しいただきたい。<br>②立地適正化計画が目指すマチのカタチや成果などを、市長をはじめ、市ウェブサイトなども通じて市内外に明示し、市民や事業者などともそれを共有しその実現に向けての気運を高めていただきたいがいかか。  |
|               |                          | 2. 交通安全<br>対策につ<br>いて                            | (1)市道東町11<br>号線と周辺<br>道路につ<br>いて                   | ①令和3年6月議会において市道東町11号線の交通安全対策を求めたが、その後どのような対応がなされ、どのような改善が見られたか伺いたい。<br>②この間も効果的な対策を求める声が続いており、現地では制限速度を大きく上回る速度で走行する車両が多く見かけられるが、ポールコーンなどの物理的デバイス設置などさらなる対策を講じるべきではないか。  |
|               |                          | 3. まちづく<br>りへの市民<br>参画の推進<br>とロトクラ<br>シーにつ<br>いて | (1)燕市附属機<br>関等の委員<br>の選任につ<br>いて                   | ①燕市まちづくり基本条例では、市の政策形成過程における公正性の確保及び透明性の向上を図るため市民参画を積極的に推進するものとし、そのために、市民参画に関する制度等の周知を図るとともに、開かれた場と機会を提供するよう努めなければならないとされている。<br>市民公募やパブリックコメントなどにより市民の参画機会は得られているが、さらなる市民参画を推進し、市民の意見、提言等を適切にまちづくりに反映させていくためには、現在の手法にとどまる必要はないものと考えている。<br>燕市附属機関等の委員の選任について、公募委員の応募資格を中高生程度まで広げるとともに、委員の一部を無作為抽出した市民から選任する、裁判員制度に類似するロトクラシーの考え方をういた選任手法の導入を検討できないか。<br>※市民参画（燕市まちづくり基本条例第2条第4項）<br>市の政策の立案、実施、評価及び改善の各過程において、市民が主体的に関わり、行動することをいいます。<br>※公募委員の応募資格（燕市附属機関等の設置、運営、公募及び公開に関する指針）<br>公募委員に応募することができる者は、燕市内に居住している者で、応募時の年齢が20歳以上のものとする。ただし、附属機関の設置目的など特別な事情がある場合は、この限りでない。<br>※ロトクラシー<br>ここでいうロトクラシーとは、無作為抽出した市民から選任された委員が、審議会その他の附属機関及びこれに類する組織（燕市まちづくり基本条例第21条）の意思決定などに関わることをいいます。 |

| 発言<br>の<br>順序 | 発<br>言<br>す<br>る<br>員   | 質<br>問<br>項<br>目<br>(大項目) | 質<br>問<br>要<br>旨<br>(中項目)           | 具<br>体<br>的<br>な<br>内<br>容<br>(小項目)  |
|---------------|-------------------------|---------------------------|-------------------------------------|--|
| 2             | 埜 豊<br>(一問一<br>答方式)     | 1. 財政問題<br>について           | (1) 燕市の財政<br>状況について                 | ①令和4年度の交付税と臨時財政対策債について。<br>②令和3年度83億の地方交付税から令和4年度77億とな<br>った影響について。令和3年度10億5千万から7億5<br>千万の影響について。<br>③令和2年度からのコロナ対策に関わる国の補助金の全<br>てが新規国債により賄われている現状をどのように捉<br>えているのか。<br>④臨時財政対策債の償還は全て交付税算定されるとして<br>いるが交付税算定の最大要件は人口であるが、今後更<br>なる人口減少が見込まれる燕市はどのように考えるの<br>か。   |
|               |                         | 2. 産業問題<br>について           | (1) 燕市の産業<br>界の現状に<br>ついて           | ①コロナ禍の現状とウクライナ侵略の影響により原材料<br>の高騰、エネルギー価格の上昇が燕市産業にもたらす<br>影響について。<br>②これまで行ってきた支援策の効果と今後の取り組みに<br>ついて。<br>③高齢化に伴う産業基盤（研磨）や、いわゆる職人仕事<br>の育成や継承について。  |
|               |                         | 3. 教育問題<br>について           | (1) N R T 学習<br>学力現状調<br>査をふまえ<br>て | ①今年度の結果についてどのように分析しているのか。  |
|               |                         |                           | (2) 学力向上に<br>向けての課<br>題について         | ①昨年来読解力の向上に向けて取り組んでいるようであ<br>るが、今年度の取り組み状況について。<br>②学力向上に向けての最重要課題は家庭学習の充実が挙<br>げられるが教育委員会での取り組み方針について。  |
| 3             | 土田<br>昇<br>(一問一<br>答方式) | 1. 県立吉田<br>病院の今後<br>について  | (1) 現地改築の<br>方針地元説<br>明会の開催<br>について | ①私の6月定例会の一般質問で病院関係の答弁で県立吉<br>田病院の早期改築としては、基本の通り運営主体の指<br>定管理者候補に医療法人「愛広会」が選定され、6月県<br>議会で決定されました。<br>その後、指定管理者による管理運営の準備が開始となる<br>見込みであり、開始時期は令和5年度後半を予定してい<br>おり、県央基幹病院の開院に伴う医療再編の時期を基本<br>に、今後協議、決定される予定となっています。<br>今後、吉田病院の老朽化なども踏まえ改築が行われる予<br>定ですが、整備については指定管理者の意見も踏まえて<br>進めると県の募集要項に記されており、県が指定管理<br>者とともに改築に向けて具体的な準備を進めていくもの<br>と認識しておりますと答弁されているが、それ以後約90<br>日も経過しているが現状と今後の見通しについて伺う。 |

(次ページへ続く)

| 発言<br>の<br>順序 | 発<br>言<br>す<br>る<br>員   | 質<br>問<br>項<br>目<br>(大項目) | 質<br>問<br>要<br>旨<br>(中項目)           | 具<br>体<br>的<br>な<br>内<br>容<br>(小項目)  |
|---------------|-------------------------|---------------------------|-------------------------------------|--|
| 3             | 土田<br>昇<br>(一問一<br>答方式) | 1. 県立吉田<br>病院の今後<br>について  | (1) 現地改築の<br>方針地元説<br>明会の開催<br>について | <p>② 現地改築の方針が出たあと、止まっていた県立吉田病院の改築構想も動き出すこととなります。県内各行政区から「効率重視でこれまで受けられた医療の一部が受けられなくなる」などの懸念が示されていることについて、花角知事は「県立がなくなるわけではなく、サービス水準が下がることは意図していないので心配はない」と答えるとともに、基幹病院の整備も含めて分かりやすい形で地元説明会を開くなど理解を得る努力が必要だとして、丁寧な説明を行う場を設ける考えを示したと報道されているが、市として県に強く説明の機会を求めていくべきと思うがその点について伺う。</p> <p>③ 県の計画では、夜間の救急は受けないし、現在の病床数199床が110床でマイナス89床となっているが感染症対策も含めて病床数の削減は見直すべきと思うがその件について県に申し入れすべきと思うがその見解について伺う。</p> <p>④ 県立吉田病院は、耐震補強がされていないが、県が発行している地震の備えのパンフレットの資料では「長岡平野西縁断層帯」を震源とする地震による被害が最も大きく県内の死者数は阪神、淡路大震災よりも多い約8千人、建物の全壊は東日本大震災よりも多い17万棟、避難者は最大で約47万人と予想されています。その問題を考えると県立吉田病院は早急に改築が強く求められると思うがその対応について市長の見解と防災担当者に伺う。</p> |
|               |                         | 2. 農業問題<br>について           | (1) 農業経営へ<br>の緊急支援<br>について          | <p>① 政府は「今年度から5年間に一度も米を作らなかった水田を『水田活用直接支払交付金』の対象にしない。長年政府の減反政策に協力してきた農家に一方的に交付金をカットすること。」<br/>今まで定着している転作の計画がダメになっていくと思うが、この突然の政府の「見直し」に、農家の方々は戸惑いや作付けの変更など大変な苦勞になってまいります。<br/>現在そのことで農協や地方自治体も混乱していると思うが、その対応等々はどのように考えているか伺う。</p> <p>② 8月9日農協吉田支店2階の会議室で私達産業建設常任委員会(5名)と燕市の3支部合同(燕・吉田・分水)で合計16名で意見交換会が開催されました。<br/>その内容は、燃料の高騰と肥料の高騰、新規就農者、後継者問題等々2時間ほどの意見交換会でしたが、現在の農家経済の厳しさの改善を強く求めてまいりました。<br/>農政課としても今までいろいろと対話はしてきていると思うが、農協の青年部との会話は農政にとって参考になることが多々あると思うので、今後計画するべきと思うが考えについて伺う。</p>  |

(次ページへ続く)

| 発言の順序 | 発言者              | 質問項目(大項目)                  | 質問要旨(中項目)                  | 具体的な内容(小項目)   |
|-------|------------------|----------------------------|----------------------------|---|
| 3     | 土田昇<br>(一問一答方式)  | 2. 農業問題について                | (1) 農業経営への緊急支援について         | <p>③ コロナ禍で米価が大幅に下落している状況の中で昨年度は6.7万ヘクタール、今年度は5万ヘクタール、合わせて11.7万ヘクタールという史上最大の減反拡大をしてきているが、燕市の減反の状況と、大豆・たまねぎ・飼料米、加工米、備蓄米、耕作放棄地等々の作付け状況について伺う。</p> <p>④ J Aの仮渡し金額が60kg当たり1,500円増額されたと報道されているがさらに見直す必要があると思うので、国やJ A中央会等々と話し合いはできないか伺う。</p>  |
|       |                  | 3. 地方鉄道の問題について             | (1) 越後線吉田から柏崎間の問題について      | <p>① 新聞報道によれば(日報7月26日から7月29日)地方提言のポイントとして</p> <p>◎ 国は「特定線区再構築協議会(仮称)」を設け、事業者や自治体と対応検討。</p> <p>◎ 最長3年で鉄道存続か、バスなどへの転換の結論を出す。</p> <p>◎ 対象は利用状況が危機的で複数の自治体にまたがるなど広域調整が必要な線区。JRは平時の「輸送密度」1,000人未満などが目安。</p> <p>◎ 国は地元合意を条件に、国の認可なく運賃を値上げできる仕組みを創設。</p> <p>鉄道の新駅設置やバスの運行費を支援すると報道されたが、地方切り捨てになると思うので、各行政区の長と協力しながら、吉田から柏崎間の越後線を守り、増便させるべきと思うが市長の見解について伺う。</p> <p>② 鉄道の新駅設置やバス運行を支援するとしているので、高木地区に新駅の設置を求めるべきと思うが市長の見解について伺う。</p> <p>③ 吉田駅のトイレの一部閉鎖についての認識も伺う。</p> <p>※ 7月14日の行政視察で私個人的に直江津駅から柏崎経由で吉田駅まで乗車した経験も話します。</p> |
| 4     | 樋浦恵美<br>(一問一答方式) | 1. ICT化における児童生徒の目の健康維持について | (1) ICT化による児童生徒の目の健康維持について | <p>① 文部科学省の令和2年度学校保健統計調査によると、裸眼視力1.0未満の児童生徒は増加傾向にあり、小学校37.52%、中学校58.29%となっています。</p> <p>学校現場では、GIGAスクール構想による1人1台端末の学びがスタートしました。</p> <p>文部科学省のホームページには、「端末利用にあたっての児童生徒の健康への配慮等に関する啓発リーフレット」が公表されています。</p> <p>児童用・生徒用として、それぞれにタブレットを使う時の5つの約束とともに、保護者用向けに、ご家庭で気をつけていただきたいことが明示されています。</p> <p>保護者と児童生徒が、各家庭でしっかりと目の健康管理ができるように取り組むことが大切であると考えます。</p> <p>今後もICT化が加速する中で、本市として児童生徒の目の健康維持についてどのように取り組まれていくのか伺います。</p>   |

(次ページへ続く)

| 発言の順序       | 発言する議員            | 質問項目(大項目)  | 質問要旨(中項目)                 | 具体的な内容(小項目)  |
|-------------|-------------------|--|---------------------------|--|
| 4           | 樋浦 恵美<br>(一問一答方式) | 2. 産後ケア事業について  | (1)産後ケア事業について             | <p>①本市で実施している産後ケア事業は、出産後（退院後）のお母さんと生後12カ月未満のお子さんが対象で、利用内容については、宿泊型と日帰り型で、委託医療機関で行われています。<br/>令和4年度現在の利用状況について伺います。</p> <p>②他自治体では、宿泊型・日帰り型その他、訪問型を加えて産後ケア事業を実施しています。<br/>本市においても訪問型を加えるべきであると思いますが、考えを伺います。</p> <p>③産前産後のお母さんに寄り添い支援する「産後ドゥーラ」という存在があります。<br/>「産後ドゥーラ」について、本市としてどのように考えるか伺います。</p> |
| 5           | 中山 真二<br>(一問一答方式) | 1. ふるさと納税について  | (1)クラウドファンディングについて        | ①目的別に目標額を設定し募集しているわけだが、それぞれの収支、真水の寄附額、事業にどのように反映されているのか、また未達の事業は、どうなっているのか。  |
|             |                   |  | (2)ポータルサイト手数料について         | <p>①寄附額はポータルサイトの手数料に大きく影響されていると聞くが、手数料システムはどうなっているのか。</p> <p>②手数料の占める割合はどうなっているのか。</p> <p>③手数料を下げる独自のサイト開拓について。</p>  |
|             |                   |  | (3)返礼品価格について              | <p>①返礼品の価格は、30%となっているが、返礼品の小売り、卸、製造の、どの価格を基準としているのか。</p> <p>②返礼品の価格はどのようにして決められているのか。</p>  |
|             |                   |  | (4)今後について                 | <p>①ふるさと納税を増やすための施策は</p> <p>②ふるさと納税の収支報告と、ふるさと納税に頼らない政策は。</p> <p>③今後考えられる施設整備はどのようなものがあるのか。</p> <p>④ふるさと燕応援基金の中長期計画を検討しているのか。</p>  |
|             |                   | 2. 改修費について   | (1)スポーツパークテニスコートの改修事業について | <p>①先般テニスコートの大規模改修現場を委員会視察に行った折、多くの議員が、コートがゆがんでいる、傾いているという意見を述べていたが、如何か。</p> <p>②改修工事は適切に行われていたのか。</p> <p>③再改修はあるのか。その場合、責任はどこにあるのか。</p>   |
| 3. 環境整備について | (1)三王淵のカラスについて    | <p>①いまだカラス被害が続いているようだが、現状は。</p> <p>②迷惑防止条例を作ることで、状況改善は出来るのか。</p> |                           |  |

| 発言の順序 | 発言者              | 質問項目(大項目)                    | 質問要旨(中項目)             | 具体的な内容(小項目)   |
|-------|------------------|------------------------------|-----------------------|---|
| 6     | 岡山秀義<br>(一問一答方式) | 1. 燕市スポーツ環境について              | (1) 運動部活動の在り方について     | ① 燕市の運動部活動の現状と見識や方向性について<br>② 部活動外部人材活用事業について<br>③ いきいき課外活動の在り方について<br>④ 燕市つばくろいきいきスポーツクラブについて<br>⑤ 保護者の金銭的負担等諸課題の解決方法について  |
|       |                  | 2. 体育館空調設備の必要性について           | (1) スポーツ施設・教育環境整備について | ① スポーツ施設や学校体育館の冷房整備について   |
|       |                  | 3. 子どもの「いのち」を守るために           | (1) 児童虐待防止について        | ① 直近の通告件数について<br>② 通告把握後の解決に向けた取り組みについて<br>③ 子どもたちの未来と一人ひとりの尊い「いのち」を守るための取り組みと啓発活動について  |
|       |                  | 4. 公共交通について                  | (1) 利用しやすい公共交通について    | ① 公共交通の運営について   |
| 7     | 田澤信行<br>(一問一答方式) | 1. 定住人口増戦略について               | (1) つばめ移住・定住促進事業について  | ① 本事業は燕市への移住人口を増やすことを目的にしていると思いますが、平成27年度からのデータでは毎年1,800人前後の転入実績があります。年度別にみても変動は無く大幅な減少も増加もありません。燕市への移住者の「移住理由」とはどのようなものか伺います。また、Uターン/Iターンの移住者比率なども分かる範囲で伺います。事業開始後の市外からの移住人数がどのように増えたか伺います。<br>② 本事業の令和4年度予算は約2,800万円(令和3年度予算比122.8%)計上されていますが、過去3年間の実績と予算対比を伺います。また、各年度の実績をどのように分析・評価したうえで次年度の施策に反映させているのか伺います。 |
|       |                  |                              | (2) 企業誘致の事業化について      | ① 施政方針における定住人口増戦略では、行政側として燕市の魅力を発信する、またはシェアオフィスなどのインフラ支援事業を行うことで地元企業の活性化やスタートアップなど起業者支援に力を注いでいると思いますが、一方でもっと市当局が主体となり都市圏からの企業誘致に取り組む姿勢が必要だと思うが如何お考えか伺います。   |
|       |                  | 2. 情報統計室の新設に伴うデジタル市役所の推進について | (1) 情報統計室について         | ① 情報統計室は具体的にどのような業務を何人で行う組織なのか伺います。   |

(次ページへ続く)

| 発言の順序 | 発言者                   | 質問項目<br>(大項目)                | 質問要旨<br>(中項目)       | 具体的な内容<br>(小項目)  |
|-------|-----------------------|------------------------------|---------------------|--|
| 7     | 田澤 信行<br>(一問一答方式)     | 2. 情報統計室の新設に伴うデジタル市役所の推進について | (2) 市役所業務のデジタル化について | <p>①令和4年度当初予算のポイントで情報統計室の新設に関し「デジタル市役所の推進による市民サービスの向上」とありますが、デジタル市役所とはどのような形態をイメージしているのか伺います。</p> <p>②現状の市役所内業務の問題・課題について、業務の効率化(システム化)という観点から情報統計室としてはどのように取り組むのか伺います。</p>  |
|       |                       |                              | (3) 情報弱者への配慮について    | <p>①デジタル化の市民サービス向上として「燕市公式LINEの機能強化」として264万円の予算を計上しています。その結果か否かは分かりませんが、最近ではコロナ感染情報以外でも毎日数件は何らかのイベント情報などが燕市公式LINEから配信されてきています。LINEアプリを活用し市民にタイムリーな情報提供は一部の市民にとって有効的であると認識しています。一方で、LINEアプリを利用していない市民には月1回の広報紙以外に情報提供は為されません。その結果、市民に対しては情報格差が生じるのではないかと危惧しています。その点の対応策としてどのように考えているのか伺います。</p>   |
| 8     | 齋藤 信行<br>(一括質問一括回答方式) | 1. 小中学校の教育について               | (1) 子どもの学びの充実について   | <p>①7月28日、国は全国学力学習状況調査の結果を公表した。新潟県の結果は全国平均と比較し、ほぼ同程度であったと報道されていた。本調査の目的は他と比較し競争させることで学力向上を狙うものか。改めて本調査の目的を伺います。</p> <p>②毎年調査を実施しているが、これまで、調査結果を受け、燕市の教員は目の前の子供のために何を変えてきたのか、また教育委員会はどんな取り組みをしてきたのか伺います。</p> <p>③これから生きる子供たちは、与えられた知識を鵜呑みにするのではなく、自分ですぐに調べたり、人と話し合ったりしながら、多様な見方や考え方を身に付け、新しい課題に挑戦していけるようにすることが重要ではないかとこれまで何度か問うてきた。学校と教育委員会には、調査等を活用し、しっかり子供の今の学びを充実させてほしいと思うが、教育長の所見を伺います。</p> |
|       |                       |                              | (2) デジタル学習について      | <p>①最近の授業はタブレットなどのデジタルツールを使った授業であり、近頃はAIのデジタルツールでの学習もあるようです。そこでこれらのデジタルツールを使いこなす能力に関して、児童、生徒、先生も含めて課題、今後の方向性、問題意識はあるのか伺います。</p>  |

(次ページへ続く)



| 発言の順序 | 発言者                   | 質問項目(大項目)                                    | 質問要旨(中項目)                       | 具体的な内容(小項目)  |
|-------|-----------------------|--|---------------------------------|--|
| 8     | 齋藤 信行<br>(一括質問一括回答方式) | 2. 大河津分水路について                                | (1) 大河津分水路通水100周年について           | ① 大河津分水路通水100周年事業について終わったものもあり、これから実施されるものもあると思います。終わった事業に対してどうだったのか、検証をして今後活かせるものがあつたのか伺います。<br>② 大河津分水路通水100周年を今後に伝える事業として通水80周年の記念事業にあつた、タイムカプセル事業など考えてもいいのではないかと伺います。  |
|       |                       |  | (2) 旧可動堰について                    | ① 通水100周年の中での旧可動堰と今後の利用、インフラツーリズムの方向性を伺います。  |
|       |                       | 3. 道の駅国上のリニューアルについて                          | (1) 道の駅国上の用地について                | ① 道の駅国上の用地と現状について市長の認識を伺います。   |
|       |                       |  | (2) オートキャンプ場について                | ① オートキャンプ場の現状と方向性について伺います。   |
|       |                       | 4. 都市計画の中における農業振興地域内農用地区域について                | (1) 都市計画の中における農地について            | ① 工業団地、企業の誘致など農地の転用の現状と道路整備についての課題を伺います。   |
| 9     | 長井 由喜雄<br>(一問一答方式)    | 1. 柏崎刈羽原子力発電所30km圏内(UPZ)議員研究会が求める新安全協定締結について | (1) UPZ議員研究会が要請した「新たな安全協定案」について | ① 8月18日、議員研究会の役員及び燕市議会から参加する議員が新安全協定締結の要請を行ったが、この案についての市長の見解と、なぜ要請に応えられないのか伺う。   |
|       |                       | 2. 給食費と保育料の無償化について                           | (1) 給食費と保育料の無償化を求める             | ① 人口減少、少子化の中で、子育て支援策により人口減と子育て世代の流入、市在住の子育て世代における出生数の増加を目指す取り組みは、燕市としても重要な課題であることは共通のところと思う。子育て支援施策としての認識を伺う。<br>② 7月に弥彦村が子育て世帯の負担軽減につながる施策として、9月から来年3月までの小学生と保育園児の給食費の無償化と給食費が保育料に含まれる3歳未満児の保育料を無償とすることを発表し、実施される。また、9月定例会には、中学校での10月からの無償化のための予算も計上されるとのことだ。これまでも求めて来たように、給食費の負担軽減は子育て世代にとってはとても有効な政策と考える。一部事務組合を構成し、そのほかいくつもの事業を一緒に行う弥彦村のこの政策は燕市も取り入れるべきものではないか。<br><br>(次ページへ続く) |

| 発言<br>の<br>順序 | 発<br>言<br>者<br>の<br>氏<br>名 | 質問項目<br>(大項目)                             | 質問要旨<br>(中項目)                                      | 具<br>体<br>的<br>な<br>内<br>容<br>(小項目)  |
|---------------|----------------------------|---|--|--|
| 9             | 長井<br>由喜雄<br>(一問一<br>答方式)  | 3. 県央地域<br>医療につい<br>て                     | (1) 9月2日の<br>住民説明会<br>では、どの<br>ような説明<br>がなされた<br>か | ① 県は8月4日付報道資料により、県央地域の医療再編後の医療提供体制について住民説明会を行うことを公にした。燕市は9月2日に5会場のトップを切って説明会が行われたが、どのような説明を行ったか。   |
|               |                            |   | (2) 安心して暮<br>らし、医療<br>を受けられ<br>るために必<br>要なこと       | ① 4年前に県央地域住民に対して説明会を行なって以降、医療提供体制などに大きな変更があったにもかかわらず、長期間住民には情報が伝わらないまま計画が進められて来たと理解している。県が説明したことについて、あらためて燕市民にとっての懸念される問題についての認識を伺う。   |
|               |                            | 4. 燕市にお<br>いても「パ<br>ートナーシ<br>ップ宣誓制<br>度」を | (1) 燕市として<br>のLGBT<br>Qの取り組<br>みについて               | ① 平成29年6月議会において、性的マイノリティー、LGBTの理解促進と行政の取り組みについて質問した。<br>この時には、①相談については国県の通知に基づいて適切に対応する。②人権教育啓発推進計画策定を考えており、市民意識調査の実施を行い、その中でLGBTの意識把握という意味から項目に入れ込む。③まずは大きな課題としてきちんと認識することから始める。④LGBTに対する理解者・支援者という意味でのAlly（アライ）という言葉に関して、内容を認識し今後の検討に取り入れたい。としていたが、この点はどうか伺う。<br>また、今後の取り組みについて伺う。<br>②同様に、教育委員会答弁で、①児童生徒に対するきめ細かな対応と、必要に応じて教育委員会に相談すること。②教職員が、LGBTへの理解を進めるとともに一人ひとりが個性を互いに認め合うことのできる環境づくりに一層務める。③15歳くらいで医学的にも自意識が出るようなので、まずはLGBTについて理解をしっかりと持つ。などとしていたが、この点はどうか伺う。また、幼児期も含め今後の取り組みについて伺う。 |
|               |                            |   | (2) 燕市として<br>パートナー<br>シップ宣誓<br>制度制定を               | ① 新潟市が2020年に「パートナーシップ宣誓制度」を開始したほか、柏崎市はホームページで「知っていますか？LGBTのこと」というページを、人権啓発室・男女共同参画室が開設し啓発に努めている。<br>LGBT総合研究所が行う意識動向調査の2019年版では、「LGBT・性的少数者に該当する人は約10%と判明」と発表している。今や社会的状況はLGBTの方々への社会的支援は当然のものとなってきている。燕市においても、行政が社会を構成する一員として役割と責任の大きさに鑑みてパートナーシップ宣誓制度を制定し、共生社会の発展に資するべきではないかと考えるがいかがか。   |

| 発言の順序 | 発言する議員             | 質問項目(大項目)                     | 質問要旨(中項目)               | 具体的な内容(小項目)   |
|-------|--------------------|-------------------------------|-------------------------|---|
| 10    | タナカ キン<br>(一問一答方式) | 1. 選挙における疑問票について              | (1) 貴重な一票を無駄にしないために     | <p>先の参議院選挙で私は開票立会人を行ったのだが、疑問票の有効、無効の判断について、とても残念、もったいないという票も多く見られた。</p> <p>① これまでで、疑問票になった例はどんなものがあるか伺う。</p> <p>② せっかく投じた貴重な一票を無駄にしないために、市民に呼び掛けていく必要があると思うが。</p> <p>③ あまり知られていないが、国政選挙で「手書」の投票を採用しているのは、ほぼ日本だけだという。その理由について伺う。</p>   |
|       |                    | 2. 野球のファウルボールによる被害について        | (1) 野球のファウルボールによる被害について | <p>北吉田駅近くに野球場があります。試合中に打者のファウルボールがネットを超えて隣接する住宅の壁を直撃し被害を及ぼしたという問題です。外壁修理代については、その家の住人と市の担当者で何回か話し合われてきたとのこと。今年の6月1日に住人のところへ市の顧問弁護士3名の連名で通知があり、この件については、燕市より一任されているので宜しくとのことである。</p> <p>「今後は、本件に関するご意見・お問い合わせ等については、当事務所宛に、文書にてご連絡下さいますようお願いいたします。なお、口頭でのお問い合わせやご連絡については、差し控えさせていただきます。」と一方的である。これには、住人として困惑して私に相談してきたものである。</p> <p>① 住人と市の担当者での話し合いで解決しないから、こういう事態になったのであるが、これまでの経緯について詳しく伺う。</p> <p>② ファウルボールによる被害は、これまで起こらなかったのか伺う。</p> <p>③ ネットの高さは十分なのか伺う。</p> <p>④ 仮に、ファウルボールによる事故等があったとして、誰に責任があるのか伺う。</p> <p>⑤ そもそも、顧問弁護士の対応を決定したのは誰か伺う。</p> |
| 11    | 宮路 敏裕<br>(一問一答方式)  | 1. 新型コロナ感染から市民の命と暮らしを守る施策について | (1) PCR等検査の拡充について       | <p>新型コロナ感染「第7波」は「緊急事態宣言」発出の水準を超えているといわれている。</p> <p>今急ぐべきはワクチン接種と同じくらい検査に力を注ぎ、新規感染を広げない対策が必要と専門家は指摘している。この認識を共有し市民の命と暮らしを守る立場で以下、伺う。</p> <p>① 介護サービス事業所感染症リスク管理支援事業は、どう活用されているか現況について伺う。</p> <p>② 医療機関や障がい者施設、学校などの職場でも、定期的PCR検査が行えるよう、費用負担を国に求め実施していくべきと考えるが、認識を伺う。</p>   |

(次ページへ続く)

| 発言<br>の<br>順序 | 発<br>言<br>者<br>の<br>氏<br>名 | 質問項目<br>(大項目)                             | 質問要旨<br>(中項目)                             | 具<br>体<br>的<br>な<br>内<br>容<br>(小項目)  |
|---------------|----------------------------|---|---|--|
| 11            | 宮路<br>敏裕<br>(一問一<br>答方式)   | 1. 新型コロナ<br>感染から市民の<br>命と暮らしを守る<br>施策について | (1) PCR等検<br>査の拡充に<br>ついて                 | ③ワクチン検査パッケージ等のPCR検査所は市内にも<br>設置され、有効利用されていると思うが、いつでも誰で<br>も利用できる臨時の検査センターの設置を、県に求め<br>ていくべきと思うが、伺う。<br>④県では濃厚接触者の疫学調査について、同居家族や事<br>業所等での濃厚接触者が行動制限短縮のために検査す<br>る場合、自己負担である。公費負担を求めているよう<br>か、伺う。  |
|               |                            |   | (2) 事業者支援<br>について                         | ①県の新型コロナ対策の特別融資などで、猶予期間や返<br>済期限の延長、追加融資を求める事業者があるのでは<br>ないか、実情を把握し困難を抱える事業者に応える支<br>援を県に求めるべきと思うが、伺う。<br>②国の事業復活支援金が終了した後の第7波の影響で、売<br>上額減少の事業者に対して、県独自の給付金事業を求<br>めてもらいたいと思うが、伺う。  |
|               |                            | 2. 小規模事<br>業者をと<br>りまく問<br>題につ<br>いて      | (1) 消費税イン<br>ボイス制<br>度につ<br>いて            | ①制度の周知について商工団体等と連携して取り組んで<br>いると思うが、元請、下請け業者の受け止めなど、把<br>握していることはあるか、伺う。<br>②全国組織の業界団体が中止や延期を求める声を上げて<br>いる。自営業の多い本市にとって廃業に至るケース<br>も含め影響は多大である。国に中止を求める声をあげ<br>てもらいたいが、認識を伺う。   |
| 12            | 大岩<br>勉<br>(一問一<br>答方式)    | 1. 燕市長の<br>政治姿勢<br>について                   | (1) 燕市長選挙<br>の後援会資<br>料内の政治<br>姿勢につ<br>いて | ①市長選での後援会資料に、行財政改革として公共施設<br>の統廃合を進めますとあります。吉田商工会と分水商<br>工会が統合に向け協議中と聞くが、市長も積極的に推<br>進取り組んでいるのか伺う。<br>②燕商工会議所もこの機会に3会議所統合に向けるべ<br>く、行政指導するべきと思われます。市長後援会役員<br>に副会長として3会議所会長を従えている市長しか<br>「率先励行」出来ないことと思います。<br>市長の所見を伺います。<br>③都市環境の整備事業として、安全な道路網の整備と公<br>共交通の充実を図りますとあるが、一社企業の利潤目<br>的的な道路作りは行うべきでないが市長の所見を伺い<br>ます。 |
|               |                            | 2. 燕市補助<br>金支給の<br>問題点に<br>ついて            | (1) 燕市補助金<br>支給の問題<br>点につ<br>いて           | ①例年同じ団体に同額に等しい補助金支給が多くある<br>が、支給規定を精査されているのか伺う。<br>②燕商工会議所の様に、自主財源力のある団体への補助<br>金支給は減額し見直すべきでないか伺う。<br>③燕商工会議所は善意として、燕市に10万円寄附され<br>たが燕市より補助金が交付されておる団体であり「我<br>田引水」見え見えの寄附は断るべきでないか、市長及<br>び筆頭部長・総務部長の見識を伺う。<br><br>(次ページへ続く)   |

| 発言の順序 | 発言者              | 質問項目<br>(大項目)   | 質問要旨<br>(中項目)              | 具体的な内容<br>(小項目)   |
|-------|------------------|-----------------|----------------------------|---|
| 12    | 大岩 勉<br>(一問一答方式) | 3. 中学校の教育問題について | (1) 燕中学校の新しい制服導入について       | <p>①令和5年度から、導入予定とされているが保護者や地域の(取り扱い販売店)などにも、丁寧な説明はされているのか伺う。</p> <p>②新中学生への入学祝い金など、経済的な負担の考慮は検討されているのか、担当の所見を伺う。</p> <p>③制服改訂委員会では、制服サンプルに「森英恵さん」などのデザインの制服も検討されたのか、生徒の個性を尊重する時代に適した計画をされているのか伺う。</p> |
|       |                  |                 | (2) 公立中学校の部活動の地域移行体制整備について | <p>①地域団体や民間事業者に委ねると、スポーツ庁と文化庁では関係者間の連絡・調整などを行うコーディネーターを自治体に配置し体制整備を行うとしているが、燕市としての取り組みの現状を伺う。</p> <p>②人材バンクを設置し、経済的に困窮する家庭への財政的な支援も実施し、公立中学休日の部活指導を地域に移行と提言されているが、燕市としての取り組みの現状を伺う。</p>               |